Medtronic

MyCareLink Home™ BlueSyncコミュニケータ 設定方法の手引き

メドトロニックの心臓用デバイス
Azure™シリーズ、
Percepta™ CRT-Pシリーズ、
Cobalt™ ICDシリーズ、
Cobalt™ CRT-Dシリーズ
を植え込まれた患者さんへ

Homeは
Relayの後継品です

目次

概要

ホームコミュニケータについて …… 3
遠隔モニタリングとは …… 4
セキュリティについて …… 5
各部の名称と働き …… 6

設定

1. 設置場所を選択する …… 8
2. 電源をつなぐ …… 9
手動送信の方法 …… 10
Wi-Fi 接続について …… 12
こんな表示が出たら …… 16
Q&A …… 18

概要

ホームコミュニケータについて

あなたの体内に植え込まれた植込み型心臓デバイスは、「MyCareLink Home BlueSyncコミュニケータ（以下、ホームコミュニケータ）」を通じて、植込みデバイスの情報（データ）を医療施設へ送ることができます。

説明動画を
ご覧いただけます

植込み型心臓デバイスとサーバ間の通信は暗号化されます。

概要

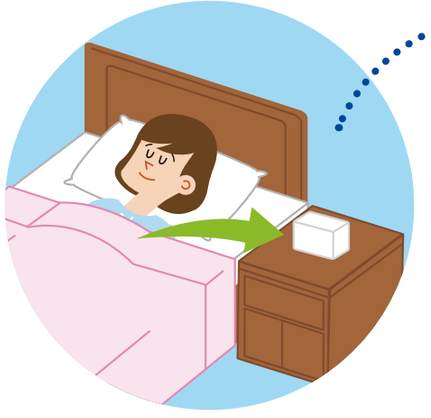
遠隔モニタリングとは

**遠隔モニタリングシステムは、ホームコミュニケータを使い、
植込み型心臓デバイスのデータをご自宅から、
担当医師や医療施設に送ることができるサービスです。**

遠隔モニタリングシステムの流れ

1 送信日の設定

植込み型心臓デバイスのデータが
医療施設へ自動送信される日にちは、
医療施設が設定します。



2 送信

植込み型心臓デバイスのデータは、
医療施設が設定した送信日時に
自動的に送信されます。
医師からの特別な指示があれば、
手動送信も可能です。

3 通信

植込み型心臓デバイスのデータは、
ホームコミュニケータから
Medtronic のサーバへ送信されます。

4 確認

医療施設では、
セキュリティ対策された
専用ウェブページを通じて、
送信されたデバイスのデータを
確認します。

遠隔モニタリングシステムでは、医療施設は送信されたデータの確認を必要に応じて行いますが、常時確認することを保証するものではありません。また、**本サービスは緊急対応を行うためのサービスではありませんので、身体に異常を感じたときには、速やかに担当医師に連絡してください。**さらに、本サービスはペースメーカ等の外来受診の代わりになるものではありませんので、送信スケジュールや外来スケジュールについては担当医師の指示に従ってください。

概要

セキュリティについて

データの暗号化

植込み型心臓デバイスのデータは、
金融機関等でも使用されている
NIST* 標準化暗号により、
植込み型心臓デバイス内で
暗号化されます。

*NIST: 米国国立標準技術研究所
(National Institute of Standards and Technology)

デバイスの保護

植込み型心臓デバイスは、
不正に設定変更することはできません。
植込み型心臓デバイスの設定変更は、
医療施設で専用の医療機器を
使用してのみ行うことができます。

概要

各部の名称と働き

光センサー

周囲が暗い場合、光リングの消灯と消音を
自動で行います

光リング

通信の状況を示します：

●緑色点灯：正常作動

●緑色点滅：処理中

●オレンジ色+他のアイコン：エラー状態
（16ページ参照）

部屋が暗い場合には消灯または減光します
消灯状態でも正常に作動しています

ボタン

短く押す（1秒以内）：

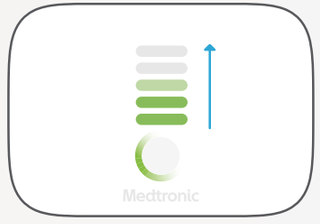
通信状態の確認ができます
携帯電話回線またはWi-Fiに接続している場合、
アンテナマークが点灯し状況を示します
光リングが緑色に点灯していれば正常作動中です

長く押す（2秒以上）：

手動送信は医師の指示があった場合にのみ
行います

プログレスバー（進捗表示）

5つのライトが段階的に点灯します
送信完了後はチェックマークと光リングが点灯します

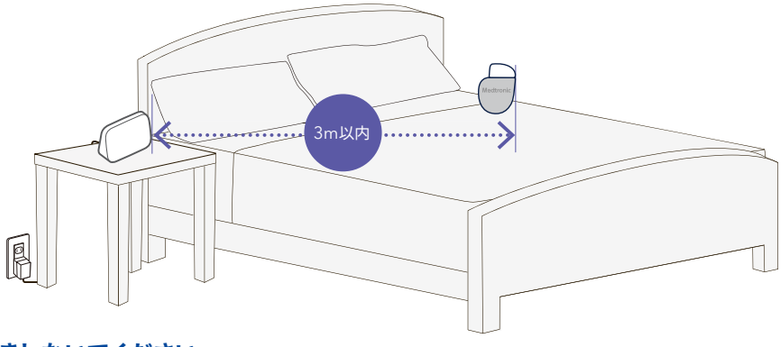


設定 1 設置場所を選択する

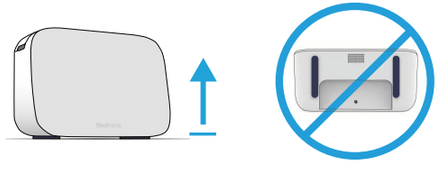
まず、ホームコミュニケータの設置場所を選択します。
設置場所を選ぶ際には、以下の項目を確認してください。

1. ホームコミュニケータはいつもお休みになる場所から3m以内に設置します。ベッドを使用の場合はナイトスタンドやテーブルの上などに置いてください。また、本体は横置きしないでください。
2. 携帯電話回線の通信が良好な場所に設置してください。
3. ホームコミュニケータ設置場所の近くに電源コンセントを確保してください。

ホームコミュニケータは常時、
電源コンセントに接続してください。



本体は横置きしないでください。



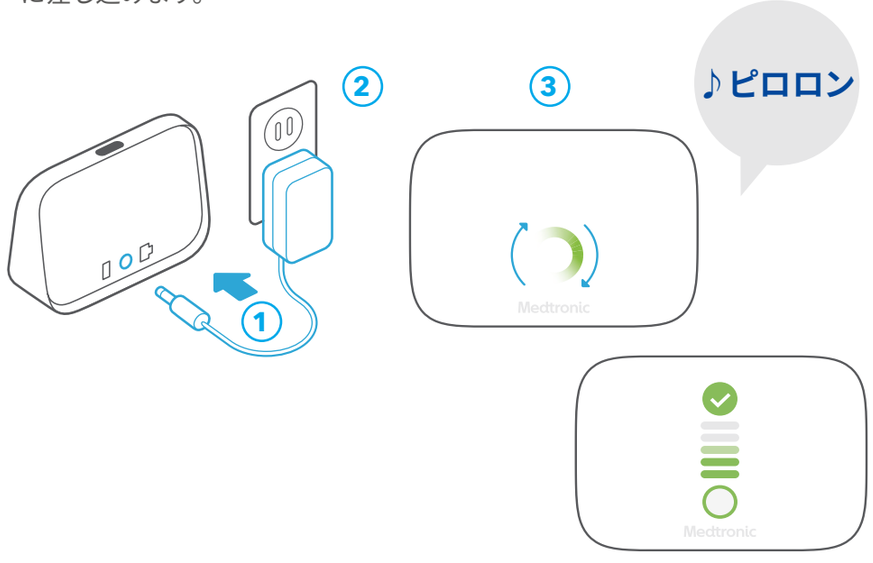
設定 2 電源をつなぐ

1. 電源コードのプラグをホームコミュニケータ背面にある電源コード差込口に差し込みます。

プラグは差込口の奥まで、しっかり
差し込んでください。

2. 電源コードを壁の電源コンセントに差し込みます。
3. 電源コンセントに接続すると最長3分間、光リングが回転します。光リングの回転が停止すれば設定は完了です（音は鳴らない場合もあります）。

他の操作を行う必要はありません。



※ホームコミュニケータの状態を確認するには短く（1秒以内）ボタンを押します。
緑色のリング以外が常時点灯している場合には、
16、17 ページの「こんな表示がでたら」を確認してください。

手動送信の方法

通常は操作する必要はありません。
医師から特別な指示があった場合のみ実施してください。

手動送信方法の動画
（5分45秒付近）

1 ボタンを**2秒間長押し**します。
♪ピロリと音が鳴ったら
指を離します。

光リングが回転し
プログレスバーが進みます。

2 プログレスバー
が全て緑色に点灯するまで
ホームコミュニケータの
3m以内にいてください。
最長6分ほどかかることがあります。
終了すると♪ピロンと音が鳴ります。

3 チェックマークと光リング
が点灯すれば送信完了です。

以後の操作は必要ありません。

Wi-Fi 接続について 1

Wi-Fi設定方法の動画
（3分30秒付近）

ホームコミュニケータはWi-Fi接続にも対応しています。Wi-Fiを設定していただくことで、電波状況に応じてより安定した通信が可能になりますので、可能な方はぜひWi-Fi設定もご利用ください。

Wi-Fiの設定の前に

●設定を行うにはパソコンまたはスマートフォンが必要です。

●ホテルや公共Wi-Fiなど特別な入力項目がある場合は接続できません。
例えば、ホテルでは部屋番号等の入力を求められることがありますが、この場合は使用できません。

●Wi-Fi接続が弱くなったり接続できなくなったりした場合は、下記のように作動します。
- ホームコミュニケータは携帯電話回線が使用可能であれば、自動的に携帯電話回線に切り替わります。
- ホームコミュニケータは、Wi-Fiの電波が再び利用可能になると、自動的にWi-Fi接続に切り替わります。

1 自宅のWi-Fiのネットワーク名称(SSID)とパスワードをご用意下さい。

2 ホームコミュニケータがコンセントに接続されていることを確認します。

3 パソコンまたはスマートフォンから下記サイトにアクセスします。
https://www.mclhomewifi.com

次ページへ続く ▶

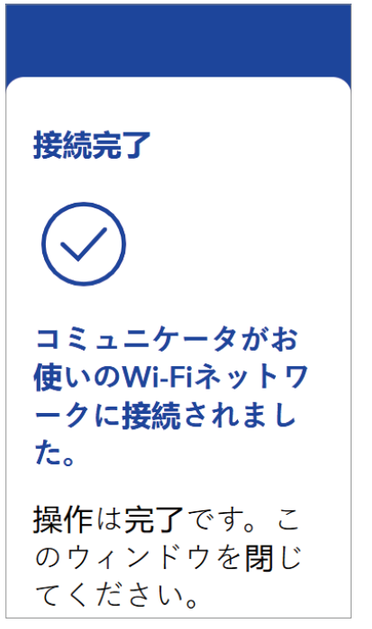
Wi-Fi 接続について 2

4 サイトの指示に従い、ホームコミュニケータのシリアル番号とセキュリティコードを入力します。

5 一覧に表示されたネットワークから自宅のWi-Fiを選択します。

6 Wi-Fiネットワーク名とパスワードを入力します。

7 接続完了と表示されれば完了です。



こんな表示が出たら

ホームコミュニケータにエラーが生じても植込み型
心臓デバイスには一切影響がありませんのでご安心ください

携帯電話圏外のエラー表示について

正常に使用できていたホームコミュニケータが圏外表示となった場合、携帯電話ネットワークのトラブルも想定されます。この場合､弊社コールセンターにお問い合わせが集中するため、繋がりにくい状況が発生いたします。ネットワークトラブルによるものであれば自動的に復帰し正常作動に戻りますので１日程度そのままお待ちください。

表示	音色	状況	説明
携帯電波アイコンがオレンジ色に点灯します	♪ピルル ピルル	携帯電話回線圏外です	携帯電話回線に接続できませんでした。 電波の良い窓際でコンセントに挿しなおしてください。
光リングの下の部分が緑色に3回点滅します	♪ピルルル ルーン	現在通信中です	通信中です。 しばらくしてから再試行してください。
! マークと数字がオレンジ色に点灯します	♪ピルン ピルン ピルン	システムエラーです	コンセントを挿しなおしても同様の場合には交換が必要です。表示された数字と共にコールセンターまでご連絡ください。なお、ホームコミュニケータにエラーが生じても植込み型心臓デバイスには一切影響がありませんのでご安心ください。
雲のアイコンがオレンジ色に点灯します	♪プルルン プルルン	病院による登録待ちです	病院による登録が完了していません。 数日お待ちください。
Wi-Fiアイコンがオレンジ色に点灯します	♪ピルル ピルル	Wi-Fi に接続できません	設定されている Wi-Fi にも 携帯電話回線にも接続できません。 Wi-Fi ルータを再起動し、 再度 Wi-Fi を設定してください。

Q&A

Q1 ホームコミュニケータが正常に作動しているかどうかは、どうすれば確認できますか？

緑色の光リングが点灯していれば正常です。光センサーによって部屋が暗い場合には消灯しますが、その場合も正常に作動しています。

Q2 光リングの下部が点滅しているのはなぜですか？

ボタンの長押し後に音が鳴り、光リングの下部が3回点滅する場合は、ホームコミュニケータが通信中のため操作できません。しばらくしてから再度試してください。

Q3 ホームコミュニケータの電源が切れるとどうなりますか？充電池を搭載していますか？

充電池は搭載していないため、データの送信はできません。電力が失われても、植込みデバイスや植込みデバイスのデータには影響しません。電源が復旧すれば、ホームコミュニケータは正常作動に戻ります。

Q4 旅行の際にもホームコミュニケータを持参する必要がありますか？

旅行期間にもよりますので、医師に相談してください。なお、充電池は搭載していませんので、航空機内への持ち込みに制限はありません。携帯電話回線は日本国内のみ使用可能です。海外ではWi-Fi接続を検討してください。また、スマートフォンアプリを用いた遠隔モニタリングシステムが利用可能な場合もありますので、頻繁に海外出張や海外旅行に行く場合は、医師に相談してください。

Q5 ホテルや公共の環境がある場所で、ホームコミュニケータのWi-Fi設定はできますか？

Wi-Fi接続のため、アクセス条件に同意したり、メールアドレスを登録する必要がある場合には接続できません。一部のホテルでは、Wi-Fiに接続するために名前と部屋番号などの入力が必要となる場合がありますが、そのような環境では使用できません。

Q6 部屋を暗くしたらホームコミュニケータのライトも消灯しました。正常に作動していますか？

はい、正常に作動しています。ホームコミュニケータには、部屋が暗い時に光リングを消灯または減光するために光センサーが搭載されています。

Q7 ホームコミュニケータの近くに携帯電話を置くと電波干渉が発生しますか？

いいえ、ホームコミュニケータの近くに携帯電話を置いても問題は生じません。

Q8 ホームコミュニケータの電源コードを抜き、再度電源を入れた場合はどうなりますか？

設定が既に完了している場合、再度電源を入れれば何も操作することなくホームコミュニケータは正常に作動します。

Q9 誤ったホームコミュニケータの操作によって植込みデバイスが壊れたりしませんか？

ホームコミュニケータの操作方法が、植込みデバイスの動作に影響を与えることはありませんので安心してください。

Q10 データの送信にかかる時間はどれくらいですか？

データの読み込み・送信を合わせて10分ほどで完了します。データ量によっては10分以上かかる場合もあります。

Q11 自動ではなく、手動でデータを送信することは可能ですか？

ボタンを長押し（2秒以上）することで、手動でデータを送信することは可能です。10分間はホームコミュニケータから3m以内にとどまってください。ただし、病院からの指示がない限り、ご自身での判断による送信操作はしないでください。

Q12 ホームコミュニケータの使い方が分らなくなりました。どうすれば良いですか？

本冊子をご覧ください。それでも解決しない場合は、病院が指定した連絡先へ連絡してください。それでも解決しない場合は、本冊子背表紙に記載されている「ケアリンク専用コールセンター」までお問い合わせください。

Q13 友人が植込みデバイスを使用しているのですが、同じホームコミュニケータを使用することはできますか？

いいえ、できません。ホームコミュニケータは、登録されたご本人の植込みデバイスのみ使用が可能です。

Q14 植込みデバイスを交換した場合、ホームコミュニケータはどうなりますか？

交換後のホームコミュニケータの継続使用については、医師に確認してください。

Q15 ホームコミュニケータを使用していないときや外出中もコンセントに繋いでおく必要がありますか？

ホームコミュニケータは定期的にサーバと通信を行っていますので、常時コンセントに接続しておいてください。

Q16 設置場所変更のため、一時的に電源を切っても問題ありませんか？

はい、問題ありません。移動先で再度コンセントに接続してください。その後の操作は特に必要ありません。

Q17 スマートフォンアプリを用いた遠隔モニタリングに変更したいのですが、可能ですか？

スマートフォンをお持ちの場合は、アプリでの遠隔モニタリングに変更出来る可能性がありますので、医師に相談してください。

ケアリンク専用コールセンターは、ホームコミュニケータの設置及びデータ送信に関するお問い合わせを受け付けております。
体調がすぐれない場合は医師または119 番へご連絡ください。

ケアリンク専用コールセンター

0120-360-553

受付時間：月～金（祝日除く）9時～17時

電子メールでのお問合せも可能です。
rs.jpcarelink@medtronic.com
2 次元コードからメールが作成できます。

Medtronic

日本メドトロニック株式会社
カーディアックリズムマネジメント
108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

A2505-2608MJUG5000a　©2026 Medtronic.
Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。
Bluetooth®のワードマークおよびロゴはは Bluetooth SIG,Inc.が所有する登録商標です。
遠隔モニタリングシステム「ケアリンク」（メドトロニックのサーバ）は医薬品医療機器等法非該当品です。

2026 年 8 月版
A2505

販売名 / 医療機器承認番号　Medtronic Azure MRIシリーズ / 23000BZX00027000　Percepta MRI CRT-Pシリーズ / 23000BZX00230000
Cobalt MRI ICDシリーズ / 30200BZX00097000　Cobalt MRI CRT-Dシリーズ / 30200BZX00098000　メドトロニック LINQ II / 30300BZX0027800

FY27-CRM060_Ver.1.0